

新和 × Cafe & Bar

日本のカルチャーを 楽しく発見できるCafe&Bar

私たちが提案するのは「新和Cafe&Bar」です。この施設はスポーツ観戦をしつつも同時に「お風呂」「裸足」「分別」という3つの日本の文化様式を体験し自然と身につけられるようになっています。この施設は日本の文化などを知ってもらうと同時に、様々な国の人が交流できるようにすることが目的となっています。オリンピック終了後も観光地としての運営が可能である点がポイントです。また、「親和」と「新・和」がかかっている点もポイントです。



和 × Café & Bar

日本古来の伝統文化・風習
日本の技術
新時代のサブカルチャー

休息の場所
スポーツ観戦
人が集まるコミュニケーションの場



プロジェクトメンバー

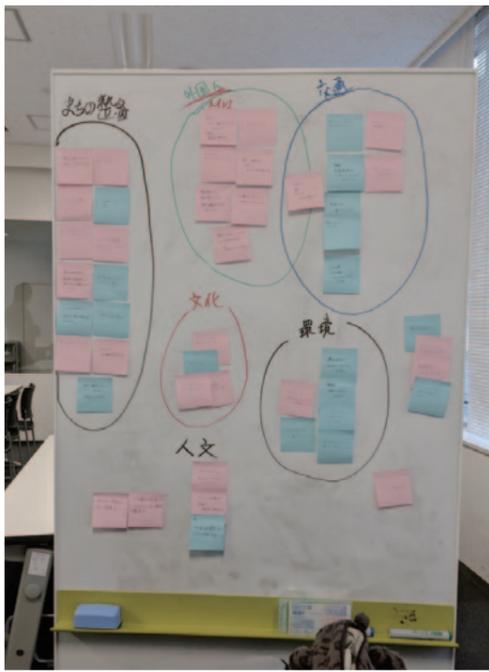
- | | |
|------------------|--------|
| 芝浦工業大学デザイン工学部 2年 | 筒井 湧太郎 |
| 芝浦工業大学大学院 | 劉 洋辰 |
| 香川大学工学部 2年 | 川井 咲菜 |
| 香川大学経済学部 2年 | 大塚 唯倭 |

Insight 文化や様式の違いに着目

私たちの班では雨の中自由行動をしているうちに、傘をさしているのが日本人ばかりなことに気がきました。外国人は雨にぬれても気にしないのか。傘をさすという行為をどこに位置づけているのか。この発見を基に私たちは文化や様式の違いについて考えてみることにしました。

文化や様式の違いについて考えてみると、案外多くのことが思いつきました。例えば、エスカレーターの並ぶ場所は国内でも違ったりします。また、電車に乗る時に「切符を使うのかICカードを使うのか」、支払方法として「現金が主流なのかカードが主流なのか」など、数え上

げたらきりがありません。そこで、このような様々な「文化・様式の違い」の中からいくつか焦点をあて、これらを「自然に」かつ「楽しく」体験できるようにアイデアが無いかを検討することにしました。



Outcomes 3つの体験に着目

いくつか出た違いの中で、私たちは主に三つのことに注目することにしました。一つ目は「お風呂文化」についてです。湯船につかるというのは一般的な国もあれば、そうではないところもあります。二つ目は「裸足文化」についてです。日本人は家に入る時に靴を脱ぎます。これはとて

も珍しいながらも、足の裏で畳などを感じられるうえくつろげるため良い文化だと感じています。三つ目は「ごみの分別」についてです。日本人はごく自然にごみを分別しています。これを多くの観光客に浸透させることができたならオリンピックにおいてごみが問題となることが少なくな

ることでしょう。これらを叶える施設として「オリンピックの観戦を行うCafe&Bar」を念頭に、「靴を脱がないと行けない玄関」「足湯の席」「分別の色分け」という3つの仕掛けを施した施設を提案しました。